

鶴岡工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	英語V				
科目基礎情報								
科目番号	0047	科目区分	一般 / 必修					
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2					
開設学科	創造工学科(電気・電子コース)	対象学年	3					
開設期	通年	週時間数	2					
教科書/教材	Trend Watching 2							
担当教員	田邊 英一郎,丹生 直子							
到達目標								
比較的最近の世の中の動向についてのエッセーを読むことで、既習の文法項目を復習しつつ、正確でより高度の読解力を身につけることを目指します。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
評価項目1 一つ一つの文の意味を理解する。	文の構造が分かった上で、一つ一つの文の意味が正確に理解できる。	一つ一つの文の意味が理解できる。	一つ一つの文の意味が理解できない。					
評価項目2 本文に出てくる重要な語句や文法を理解、習得する。	本文に出てくる重要な語句や文法が正しく理解でき、そのほぼ全てを習得できる。	本文に出てくる重要な語句や文法が理解でき、その6割以上を習得できる。	本文に出てくる重要な語句や文法が理解、習得できない。					
評価項目3 話の流れ(論理の展開)を理解する。	話の流れ(論理の展開)が正しく理解できる。	話の流れ(論理の展開)が理解できる。	話の流れ(論理の展開)が理解できない。					
学科の到達目標項目との関係								
(F) 論理的表現力と外国语によるコミュニケーションの基礎能力を身につける。								
教育方法等								
概要	比較的最近の時代の動向について書かれた英語エッセイを読みます。誰もが興味を持ちそうな話題を取り上げているので、内容を楽しみながら英語を読むことが出来ます。多読より精読を重視します。これまで学んだことを復習しつつ、より正確で高度な英語読解力の習得を目指します。読解演習以外に、比較的解答しやすいTOEICのリスニング問題(写真描写問題、応答問題)を使ったリスニング練習も取り入れます。							
授業の進め方・方法	最初の15分くらいは、リスニング練習に当てます。読解演習は、担当教員作成のワークシートを使います、ワークシートを使った問題演習を通じて、一つ一つの文の意味、話の流れおよび本文で使われている重要な語句や文法が理解できるように授業を進めます。							
注意点	全ての教科に言えることかもしれません、分からぬことはできるだけ後に残さないことが大切です。また、正解がなぜ正解なのか、自分なりに理解することも大切です。なお、以下の授業計画はあくまで予定なので、授業を進めしていく中で変更することもあります。							
事前・事後学習、オフィスアワー								
授業日の16:00から17:00								
授業の属性・履修上の区分								
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
前期	1stQ	1週 ガイダンス。 Chapter 1 Fake Online Reviews	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		2週 Chapter1 Fake Online Reviews	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		3週 Chapter2 Could I Become a You Yuber?	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		4週 Chapter2 Could I Become a You Yuber?	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		5週 Chapter3 Selling Viral Videos Makes Big Money	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		6週 Chapter3 Selling Viral Videos Makes Big Money	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		7週 Chapter4 Retro Video Games Become Popular Again	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		8週 中間試験	中間試験を受験する。					
後期	2ndQ	9週 Chapter4 Retro Video Games Become Popular Again	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		10週 Chapter5 Why Don't We Ask Siri?	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		11週 Chapter5 Why Don't We Ask Siri?	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		12週 Chapter6 Uncanny Valley	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		13週 Chapter6 Uncanny Valley	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		14週 Chapter7 Toddlers and Technology	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		15週 Chapter7 Toddlers and Technology	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。					
		16週						

後期	3rdQ	1週	Chapter8 No More Game-Changing Technology?	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		2週	Chapter8 No More Game-Changing Technology?	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		3週	Chapter9 Waiting in Line for Delicious New Food	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		4週	Chapter9 Waiting in Line for Delicious New Food	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		5週	Chapter10 Sympathy for the Delivery Man	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		6週	Chapter10 Sympathy for the Delivery Man	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		7週	Chapter11 Black Friday	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		8週	中間試験	中間試験を受験する。
後期	4thQ	9週	Chapter11 Black Friday	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		10週	Chapter12 Graduation Trips	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		11週	Chapter12 Graduation Trips	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		12週	Chapter13 Aspects of Sneaker Culture	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		13週	Chapter13 Aspects of Sneaker Culture	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		14週	Chapter14 The Union Jack as Fashion Symbol	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		15週	Chapter14 The Union Jack as Fashion Symbol	一つ一つの文の意味、話の流れ、および本文で使われている重要な語句や文法が理解できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	15	0	5	100
基礎的能力	80	0	0	15	0	5	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0